

プレスリリース

2026年4月16日

パラオ

『マリンダイビング大賞 2025』で1位受賞 「ベスト海外エリア」と「初めて行きたい海外」で二冠達成

パラオ政府観光局（Palau Visitors Authority）は、2026年4月3日に発表されたダイビング専門誌『マリンダイビング』主催の「マリンダイビング大賞 2025」において、パラオが「ベスト海外エリア部門」および「初めて行きたい海外エリア部門」の両部門で第1位を受賞したことをお知らせいたします。



駐日パラオ共和国大使館 特命全権大使 ピーター・アデルバイ氏は、受賞にあたり、次のように述べています。「このような素晴らしい賞をいただき、大変光栄です。ユナイテッド航空の運航により、日本からパラオへの直行便が週2便、約4時間半でご利用いただけるようになり、私たちの『手つかずの楽園』へのアクセスがこれまで以上に便利なものになりました。これまでパラオを訪れてくださった皆様に心より感謝申し上げます。またのご来訪をお待ちしております。そして、まだお越しになったことのない皆さまもぜひパラオの世界有数のダイビングスポット、美しい海洋生物、自然の魅力をご体験いただきたいと思います。」

「マリンダイビング大賞」は、年間125万人が訪れるダイビング情報サイト「マリンダイビングWEB」において、全国のダイバーが選ぶスキューバダイビングと旅のファン投票企画です。潜りに行って良かった海、これから行きたい海、素晴らしいプロダイバーやダイビングショップなど、8部門が設定されています。パラオは、「ベスト海外エリア」と、「初めて行きたいエリア」で第1位を獲得しました。

パラオは、世界初の環境保護誓約「パラオ・プレッジ」に象徴される、自然を守りながら旅を楽しむ「サステナブル・ツーリズム（持続可能な観光）」の先進国として、国際的な注目を集めています。世界中のダイバーを魅了する「パラオブルー」は、日本のダイバーからも高い支持を得ています。今回の受賞はその高い人気と評価を裏付けるものとなりました。

パラオ共和国について

パラオは、世界でも数少ないユネスコ世界複合遺産を有する国の一つであり、自然遺産としての美しさと文化遺産としての歴史的価値の双方が認められています。586の島々から構成されるうち、人が住んでいるのはわずか9島。そこには手つかずの自然が広がっています。「パラオブルー」と称される高い透明度を誇る海は、世界中のダイバーの聖地となっています。色彩豊かなサンゴ礁や絶景、自然と共生する人々の温かいホスピタリティにより、日本はじめ世界中から訪れる旅行者に高い評価を得ています。

詳細は、<https://visitpalau.jp/> をご覧ください。

公式 Instagram <https://www.instagram.com/visitpalaujp/>

公式 X <https://x.com/visitpalaujp>

パラオ・プレッジについて

世界初の環境保護誓約「パラオ・プレッジ (Palau Pledge)」は、パラオに入国するすべての旅行者に、パラオの環境を守るよう、入国前にこの誓約への署名を義務付けたものです。2017年、パラオは、未来の世代のために独自の文化と美しい自然環境の保護を目的に、入国に関わる法律と入国手続きを変更しました。入国スタンプを含むすべての誓約は、パラオを訪れる主要国の日本、米国、韓国、中国、台湾の5つの言語に翻訳されています。

このプレスリリースに関するお問い合わせ：

パラオ政府観光局 日本事務局（アビアレップス株式会社内） 担当：川島、紺野
TEL: (03) 6261-5733 / FAX: (03) 6261-5944 / e-mail: PVA-PR.japan@aviareps.com